



11月うぶやま天文台星空情報 3

木星と月の接近



天空が広がる一覽三山の台(久住山系、祖母山系、阿蘇山系の山々を一望できる)である、うぶやまの高原には冬の足音が聞こえています。

晴れていれば肉眼で見える限界の6等星や、天の川まで見える素晴らしいうぶやまの星空を楽しみませんか。

11月のうぶやまの星空情報の3弾は、11月17日に木星と月が接斥する天文現象です。

11月17日、金星が西の空に沈む頃東の空には、満月を1日過ぎのわずかに欠けた月と、 -2.8 等級の木星が昇ってきます。月と木星はこの夜、夜が明けるまでずっとそばに見えていますが、一番接近するのは20時頃です。

月の通り道である白道と、惑星の通り道である黄道が近いため、月は毎月色々な惑星と接近します。惑星の中で一番明るく見えるのは金星ですが、金星は夕方の西の空か、明け方の東の空にしか見えないので、接近する月の形は、三日月(明け方の場合は逆向きの三日月)のような細く欠けた形に限られます。惑星の中で2番目に明るい木星が、宵の頃東の空に見える頃には、満月付近の丸い月とも接近します。しかし、まぶしい月と並んでもその存在は感を失わずにいられるのは、太陽系で一番大きな惑星ならではの貫禄言えます。

月と木星が高い空に昇る頃には、東の空には -0.2 等級の火星も昇ってきて、背景の冬の星座たちと共に、夜更けの東の空はにぎやかになります。ただ、残念なことにもん丸に近い月の輝きがまぶしくて、星々の輝きは少し弱々しく感じられるでしょう。

【木星と月の接近】

